

そこが聞きたい!! 一般質問

一般質問のようすは、インターネット録画配信をしています。また、議員名の横の2次元コードから、該当議員の動画へアクセスできます(パソコンやスマートフォンで視聴できます。閲覧可能期間は2年間です)。



公共交通の充実と 狭山市の利便性の向上

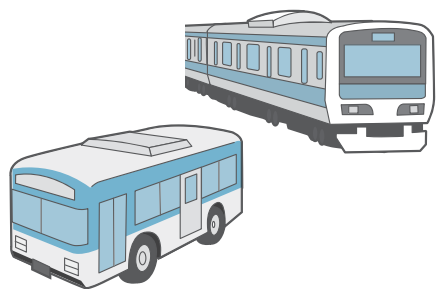
土方 隆司 (新政みらい)



その他のテーマ

- ▶ 鉄道輸送の充実
- ▶ バス輸送の充実
- ▶ 良好な公共交通の形成

しいと考えている。市民の生活圏の拡大と、利用者の利便性の向上の観点から、市内循環バスの入曽西循環コースを武蔵藤沢駅まで延長することについて、狭山市地域公共交通会議で協議しており、今後並行して入間市とも調整していきたい。



◆狭山市の公共交通の充実を!

①狭山市民なら一度は経験があるであろう「新所沢駅止まり」の不便さの解消や、西武池袋線への乗り入れなど、鉄道輸送のさらなる充実を図る必要があると考えるが、市の見解は。

②利便性の向上のために、入曽駅と武蔵藤沢駅を結ぶバス路線の新設などが必要と考えるが、市の見解と取り組みは。

市民部長 ①鉄道事業者には、輸送力の増強という点ではスピードアップや安定運行、運行時間の延長などを、また、利便性の向上という点では西武池袋線の直通運転や乗り換え時間の短縮などを引き続き要望していく。

②西武新宿線入曽駅と西武池袋線武蔵藤沢駅をつなぐバス路線は、バス事業者による運行は難



狭山市の将来を考えた 「行財政改革」を!!

内藤 光雄 (新政みらい)



その他のテーマ

- ▶ 行財政改革の成果と課題は
- ▶ 重要となる視点や注意点は
- ▶ 経営を視点に入れた狙いは

取り組んできた。これからの行財政改革は行政コストの削減だけでなく、ヒト、モノ、カネ、情報といった行財政資源をいかに効果的に配分し、活用していくかが重要となる。

◆今後の行財政改革の推進に当たって

社会経済の環境が変化する中で、重要となる視点や注意する点は。

総合政策部長 市民生活などに少なからず影響を及ぼすため、市民の理解と協力を得るとともに、職員に対しては不断の思いで行財政改革に取り組む意識づけが重要である。また、こうした取り組みによって、どのように行財政の改革がなされるのか、その戦略も説明し、理解を得ていきたい。

◆これまでの成果と課題

昭和61年から行財政改革に取り組んで以降30年が経過したが、主な成果と課題は。

副市長 職員の人件費の削減や、業務委託、指定管理者制度の導入により、事業コストの削減に効果を上げた。また、「新しい公共」の考え方に沿って、市民などとの協働事業の推進に積極的に



行財政改革の一層の推進を

常任委員会からの活動報告

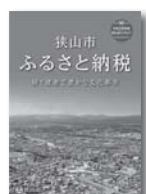
9月定例会の常任委員会で審査した議案や所管事務調査などの中から、概要をお知らせします。

狭山市のふるさと納税の状況は

総務経済委員会

◆一般会計歳入歳出決算認定
市へのふるさと納税額と市外への納税による市民税控除額の実績・影響は。

▲ふるさと納税額は、平成28年度に返礼品の送付を開始したことから、27年度の約436万円から約1千825万円に増加した。一方で、市外への納税額も増えており、市民税控除額は27年度の約4千126万円から約8千462万円と増加している。29年度も差額が生じるものの、総務省の返礼品見直し指示の影響もあり、寄附額と市民税控除額の差は若干改善していくと捉えている。



◆入曽地区地域交流施設(仮称)整備事業の現状
これまでの経緯や整備の基本方針、現時点での設計内容、今後のスケジュールなどについて所管事務調査を実施した。

▲整備事業の費用はどのくらいか。
▲現時点で、設計委託料、旧格技場解体工事費、新築工事費など合計6億9千240万2千円。なお、防衛省から、定額補助と太陽光発電パネル設置に対する補助の合計2億3千471万円の補助金が受けられる予定。

子どもから高齢者まで 生き生きと暮らしていけるために

文教厚生委員会

◆一般会計歳入歳出決算認定
国の交付金による介護事業所へのスプリンクラー設置対象施設は。

▲5つある対象施設のうち、要介護3以上の方が多く利用する2施設が今回の対象となった。

◆介護サービスの執行率低下の要因は。
▲要介護認定者数が計画値より低い水準で推移したことが大きな要因と考える。

◆市民後見人の育成状況は。
▲28年度に、市民後見人養成講座基礎編を開催し、8人が受講した。29年度は、応用編の開催を予定している。



◆狭山市の生活保護率は、近隣市と比べて低い。その要因は。
▲就労支援員と連携し、積極的な支援を行ってきた成果と考えている。

◆中学生学習支援事業「さやまっ子茶レンジスクール」の課題と委託先は。
▲課題は、参加人数が少ない中学校区があること。委託先は、さやま市民大学同窓会である。

住み良い狭山市の構築と環境問題

建設環境委員会

◆一般会計歳入歳出決算認定
建設環境委員会では、決算認定にあたり委員から次のような意見があった。

○狭山市駅上諏訪線は、地元の意見に十分配慮し、交通安全対策を万全に図りたい。○入曽駅周辺整備事業は、丁寧な住民対応をしながら進めてほしい。○狭山工業団地拡張地区基盤整備事業は、地権者との円滑な協議を行い、狭山市の産業の活性化の面から、スピード感をもって事業に取り組まれない。○住宅用省エネルギーシステムの積極的な周知と、さらなる推進に取り組まれない

◆市道路線の認定
市道の認定にあたり、現地調査を実施。狭山市駅上諏訪線の視察(2ページ写真参照)では、道路延長が長く、図面だけでは理解しにくい部分も確認している。

◆市民団体との意見交換会
「NPO法人さやま環境市民ネットワーク」との意見交換会を行ない、環境教育、不老川の河川改修などの意見が交わされた。(16ページ参照)



ここに掲載していない一般質問の質問と答弁の概要は、ホームページでご覧いただけます。ホームページでご覧いただけません。ホームページでのご覧に不便な方には、FAXまたは郵送でお届けしますので、議会事務局にご連絡ください。

04-29953-1111 内線3313